



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065 編集 早川清志 題字 島崎洋路

『まずは軽く、腕だめし』

専門コース第一開催報告

さて四月。年度が変わって十年目の森林塾が始まりました。まずは専門コースの第一開催に、昨年度の通年コースの方を中心として十人の方が参加してくれました。ボランティアで山造



装備はプロ顔負け、さて実力のほどは？

りに参加されている方も多く、プロ顔負けの装備を身につけた方もちらほら。なんとなく危なげなお天気にもかかわらずそこそこで軽快なチェーンソーの音を響かせてくれました。

お借りしたのは駒ヶ根市の土地開発公社林。菅の台から高速の西側に続く平地林の一角で、ここもご多分に漏れず、手入れが滞ったアカマツ、ヒノキの複層林。処々にフジ萇が絡まり、これらの始末も大変でした。素性のよいヒノキと比較的太そうなアカマツを残して半分程度の間伐という方針のもと、二日目まではまず快調に伐倒作業が進みました。
二十四節季の清明にあたる四月五日、朝からかなりの降り、現場はあきらめて先生の小屋で復習色々。
釣り竿による円形プロットを使ってヘクタールあたりの本数を簡単に調べる方法などの説明。そしてチェーンソーの分解掃除。目立て。この頃には雨がみぞれに変わり、ワイアのアイ加工をやっている頃には車の屋根に積もる勢い。
午後にはみぞれも収まり、ほとんど忘れていたロープのアイ加工を復習し、とりあえず第一開催が修了したのでした。



これが円形プロット用4m竿

専門コース第一開催

4月3日(木)

～5日(土)

一日目

8時30分 鳥崎先生の山小屋に集合。先生方のあいさつ。日程説明。班分け。KOA森林塾も今年でおかげさまで十年目を迎える事ができました



まずまずの受け口ですね

9時 車に分乗して駒ヶ根市の公社林へ
9時30分 現地着。正方形に近い山形で広さは約六反部。傾斜はほとんどな

く、腕試しの場所としては絶好か。
釣り竿を使って円形プロットでヘクタールあたりの本数を調べると、千六百～二千本。上層樹高はおよそ十七メートル。やはり半分は切らなくちゃなりませんね。林齢は四十五年くらい。体操。伐倒開始

12時 昼食。薄曇で少し肌寒い。昨日の雨をものともせずに保科先生が作ってくれた焚き火が嬉しい「みなさんは雨の後の山で火をつけられるかね？」

1時 午後の部再開。四班に分けて、四人のイントラが二～三人を見るところ形式でやってみました。順番も早く回ってくるし、またマイチェーンソー持参者は伐倒時以外は枝払いなどができるので、かなりの勢いで山が明るくなっていききました
4時 現場修了、チェーンソーの掃除をして小屋に戻る
6時 交流会開始。鳥崎先生



人数がいればこの力任せが一番

から馬肉の差し入れ。ごちそうさまでした。宴会は相当盛り上がった様子です。でも明日の事もあり、適当な時間に終了

二日目

8時30分 島崎先生の山小屋に集合。日程説明もそこそこに分乗して現場へ

9時 現場着。体操、伐倒開始。東側の川島班、平林班

にあたりはフジ蔓多し。特に川島班は四本まとのかかり木をつくつてしままい苦戦の様子、チルホールなどを使い順次はずす

12時 昼食。今日も少し肌寒いが焚き火はなし

1時 伐倒再開。後藤班、大野班は快調に伐等を繰り返す



伐倒方向よし!!

返し、見違えるような林になってきた。十分と思つて用意した混合燃料とチェーンオイルが心細くなって来て、買いに走る。三時頃からポツポツと雨粒。やはり予報通り明日は雨か

4時20分 本日終了、道具の手入れは明日ということに



少し受け口が薄いかな?

三日目

8時30分 島崎先生の山小屋に集合。朝から本降り

でも現場にはいけそうにない。一日内業の覚悟を決める。まずは島崎先生の釣り竿を使った、円形プロットサンプリングの説明。福井県の鋸谷



結構なお点前でございました



この目立て法を覚えておくと急傾斜地で便利

さんの発案で半径四メートルなら五十平方メートルのプロット、半径五・六メートルなら百平方メートルとなる。直接ご指導を受けた事がある後藤さんは竿に早見表を貼り付け、鋸谷式密度管理竿として常備している。一人で簡単にヘクタールあたりの本数が求められるて便利

9時30分 畳の上や板の間にシートを敷いてチェーンソーの分解掃除、目立て。使ったら掃除を心がけよう

11時 ワイアのアイ加工をイントラ川島と石原が実演。巻き差しや割り差しは見ただけでは覚えられないけど、三・三の抱き合わせくらいは覚えておけば何かの時には役に立つ。ス

9時 島崎先生に丸太材積の出し方の説明をしてもらう。これも復習の部類でしたが覚えていたかな。質疑応答などあり、先生の講評

12時 昼食。外は激しいみぞれ中はほかほか

1時 ロープのアイ加工の復習。通年コースは枝打ちの時に、また去年の集中コース秋の部は雨の時にやっていますが、覚えていましたか

2時 島崎先生に丸太材積の出し方の説明をもらう。これも復習の部類でしたが覚えていたかな。質疑応答などあり、先生の講評

3時30分 終了、解散

講師/保科先生、島崎先生
スタッフ/石原、大野、川島
後藤、平林、坂野、早川

次回以降の予定
通年コース第一・二回
4月25日(金) 植林
8時30分 島崎先生の山小屋に集合。植林現場は去年と同じ、車で南に十五分ほどの下殿島区有林です。多少の雨なら予定通りおこないますので雨具の用意をお忘れなく。豚汁は事務局で作ります

第三次・四回
5月23日(金)
施業診断・林木評価
測樹により集めたデータにもとづき、さてこの森林をどのように手入れしていったらよいか、そんな方針を決める事になります。



案ができることになります。また林木評価とは、林の材価の推定です。担当は島崎先生



しっかり込んだ林でした



愛が芽生える事はない？



師弟のアイ

5月24日(土)

樹木分類

もうすっかり葉も開いてい
るはず。身近な木の種類
を覚えると、随分楽しい気分
になれるはず。検索の方
法と特徴の説明。図鑑などが
あれば持ってきてください。
担当は島崎先生

チェーンソーの扱いと伐倒の諸注意など

今回専門コースに参加され
た皆さんはもう何度も伐倒を
経験され、時には苦い目にも
あつて居ることもあるかもし
れませんが、ほんのちよつとの
不注意で怪我をしたり、また
復旧に多大な時間や労力を要
する事もままあることです。
気づいた事を列記してみま
す。

一、伐等に関して

・つるの処理

今回、川島班を中心にして
随分悩まされました。よく観
察して、つるが絡んでいたら
あらかじめ登って切れば一
番良いのですが、未のほうで
すとも行きません。何本
かにまたがっている場合、あ

らかじめワイアをかけてお
き、慎重に追い口を開け、矢
をかましておいて最終的には
チルホールなどの牽引具で引
き倒すしかありません。

・枯れ枝の落下

特にかかり木になった時な
ど、どんな具合か思わず見上
げてしまうのですが、ちよつ
と待って、二呼吸ほど置いて
からにしてください。枯れ枝
が勢いよく落ちてくる事が良
くあります。ヘルメットに当
たり、事なきを得た経験をお
持ちの方もいるかと思いま
す。顔にあたらしたら大変で
す。木が倒れたあともしばら
く様子を見てから行動再開と
しましょう。

・かかり木を担ぐ

傾斜もそれほどなく、細い
木なら可能ですが、直径20セ
ンチを超えてくるともう難し
い。また傾斜地では滑って、
木の下敷きになったりします
からやめましょう。

・退避

まだ徹底されているとは言
い難い。木が倒れ始めたら何
はともあれさっさと退避。眺
めていてはいけません。傾斜
地では何が起こるかわかりま
せん。できればチェーンソー
も連れて行ってあげてくださ
い。追い口を入れる前に退避
路は必ず確認の事。

二、チェーンソーに関し

・スターターロープ

エンジンがかかった時、慌
ててスターターロープを「パ
チン」と離し、アクセルをに
ぎらなくても大丈夫です。
ロープはゆっくり戻してくだ
さい。「パチン」はロープを切
る原因となります。ロープの
予備って普通は持っている
のでちよつと困る。

・チェーンソーの置き場

どこそこかまわずチェー
ンソーを置くのは厳禁。自
分の真後ろに置く、退避路
におく、受け口方面に置
く、みんな要注意。また
ソーチェーンが地面につか
ないような置き方をしてい
ますか？砂でもついいたら大
変。さらに斜面でエンジン
をかけたままその辺に置い
たもんなら勝手に動いて走
り出す。こまめにエンジン
を切ることも忘れないで。

・暑い日

真夏の暑い日、チェー
ンソーを日向に出しっぱなし
にしていますか。直射日
光に当てて温度が上がると
チェーンオイルはもちろん
漏れますし、燃料もじわじ
わエンジンに入るみたい。
いわゆる「かぶった」状態に
なつてしまいます。休憩の時
は一緒に日陰に連れて行って
あげてください。

・古い燃料

2サイクルエンジンの燃料
はガソリンとオイルとの混合
燃料です。半年以上使わない
場合、燃料を抜いた上でエン
ジンをかけキャブレターも空
にしておくほうが良い。徐々
にガソリンが蒸発し、キャブ
にオイルが詰まる事を防げま
す。春に刈り払い機(ピー
バー)を久しぶりに使おうと
してなかなかエンジンがかか
らない原因のひとつはこれ。



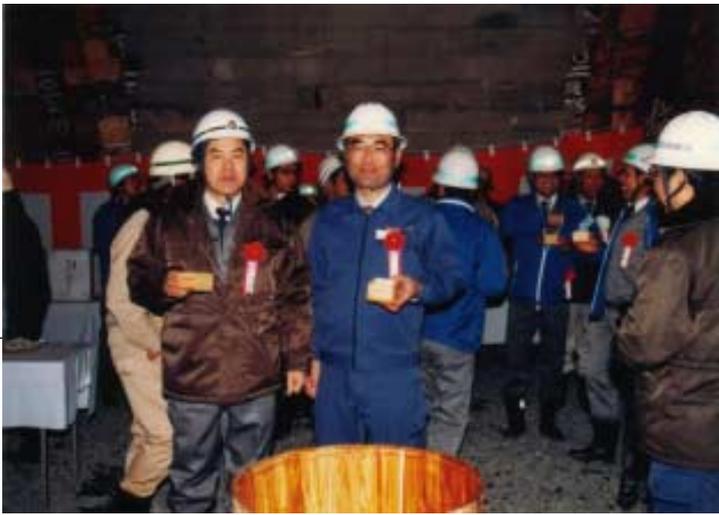
大事にしてねマイチェーンソー





私の見てきた山 山本晴彦

若い頃の山は登るものであり、小学校の遠足に始まりやがて学生時代には時間はあっても金が無いので暇つぶしによく登山に出かけた。おに



長沢トンネル開通 (s 61.2.9)

出かけた。五万分の一の地形図とは大の仲良しとなり、現地に行く前から地図の上でその地形がほぼ想像でき

ぎりと水筒があればよかったです。学校では土木を専攻したおかげで登山の対象としての山から学問の対象へと変わっていった。



ら一日の行程が狂い目的地へつけず一行を不安のどん底に落としたりときはさすがに信用丸つぶれであった。そんなこんなで学校を卒業し、道路を作る仕事についてからは、スカイラインといつて山の稜線に道路を作り自動車を走らせた。田中角栄の掛け声のもと其処にある木は次々切り倒していった。

想像できるところが大失敗もたびたび、雪崩の後や災害跡地で思わぬ回りを余儀なくされ、時間のロスが

地表にとどまらず地中深く入っていく、つまり方々にトンネルを掘ったのであるが、そこには地上とは違った世界があった。よく硬い物の例えに「動かざること山の如し」とか「一枚岩」、「磐石の」という言葉があるが、これらが嘘であることに気付いたのもこの頃。落盤で埋まりそうになること二度三度、そこにあった山は傷だらけの姿で実に痛々しかった。坑夫は荒くれ男ばかりの集団と思われがちだが非常に謙虚で信心深い。こんなとき山の神の怒りに触れたと言っては修験者に

性が入るとヤマが荒れるといつてひどく嫌っている場所のひとつだ。女人禁制と知りつつ女性記者が入坑を迫ったがたくなな断られたように、今だ真偽の程はわからない。いよいよこうなると環境破壊の罵りを受けても仕方ない。

コラム

春といえは、やっぱり桜ですよね。ここ信州伊那谷にもようやく桜の季節がやってまいりました。市内では春日公園、伊那公園が夜毎怪しい光を放ちながら桜祭りを催しております。春日公園では南アルプス、伊那公園では中央アルプスという具合に、咲き誇る桜と共に雪を頂いたアルプスを望むことができ、淡いピンクに青い空、遠くに霞む白い山々と、少々出来過ぎた眺めでもあります。

おわりに

今年には春先大変寒く、木々の芽吹きが少し遅れています。昨年のこの時期、サクラはとくに満開になっていたのですが今年はいよいよこれから咲き始め。

「欠」、「割」、「落」、「抜」、「ざれ、それ」あぶない地名は数限りない。まあ、こうみてくると一枚の地図を見ていると飽きない。そんなわけで改名論争が起きるとチヨット待てと言いたくなる、先人がどんな思いで其地名をつけたか意義深いものが消えてしまいうからである。

「ここまで出てこないはずはない。我が家の山の神はと言つと全てを支配し君臨しておると言つた状態、今日ここにきておるのも支配からのがれんがためなり。ここに参加する亭主族の多くがそのように見えてきて心の中で思わず「にやっ」とした。

最後に「なつたが山の存在はとにかく大きい。自分の生涯を通して山と関つてきて今また罪滅ぼしのため自然の懐に飛び込んでいこう」としてお

夕暮れの 灯りにつかぶ
浮世花 嘘子

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。
TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994
E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
mi-tsuboki@koanet.co.jp
携帯:0902-53-26375 (開催日)
H.P.http://www.koanet.co.jp

